

乗って楽しい！見て楽しい！
便利な「まちなか回遊モビリティ」

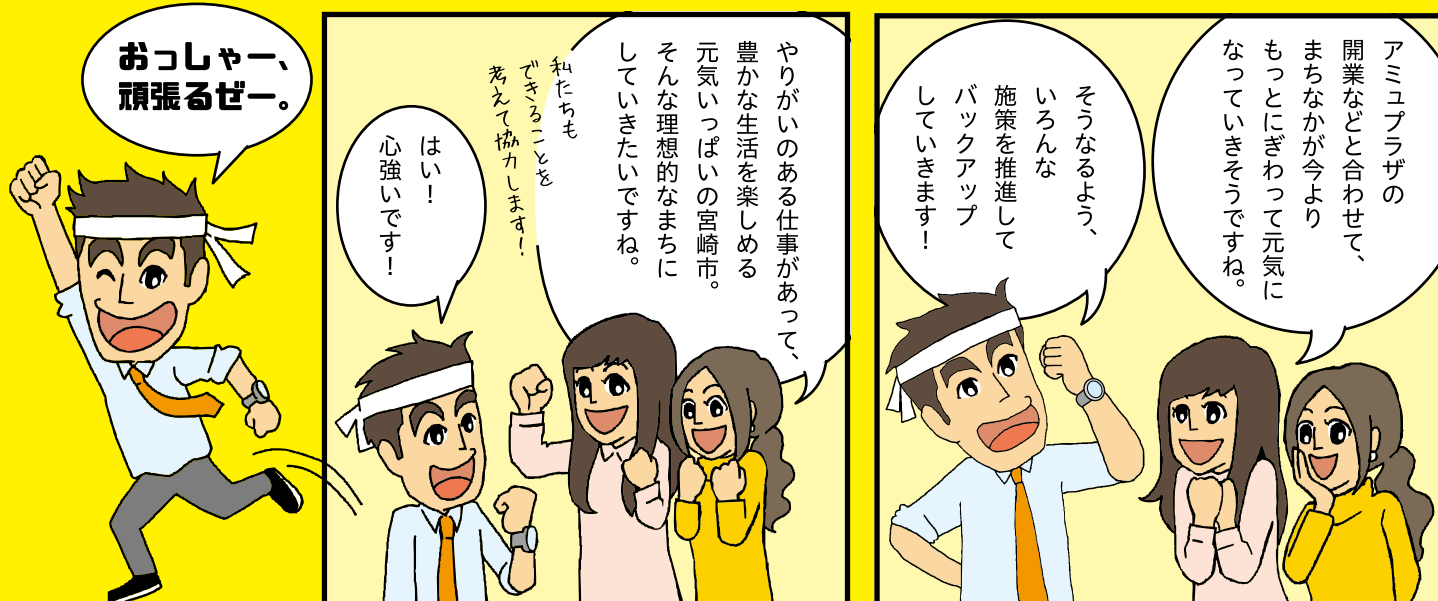
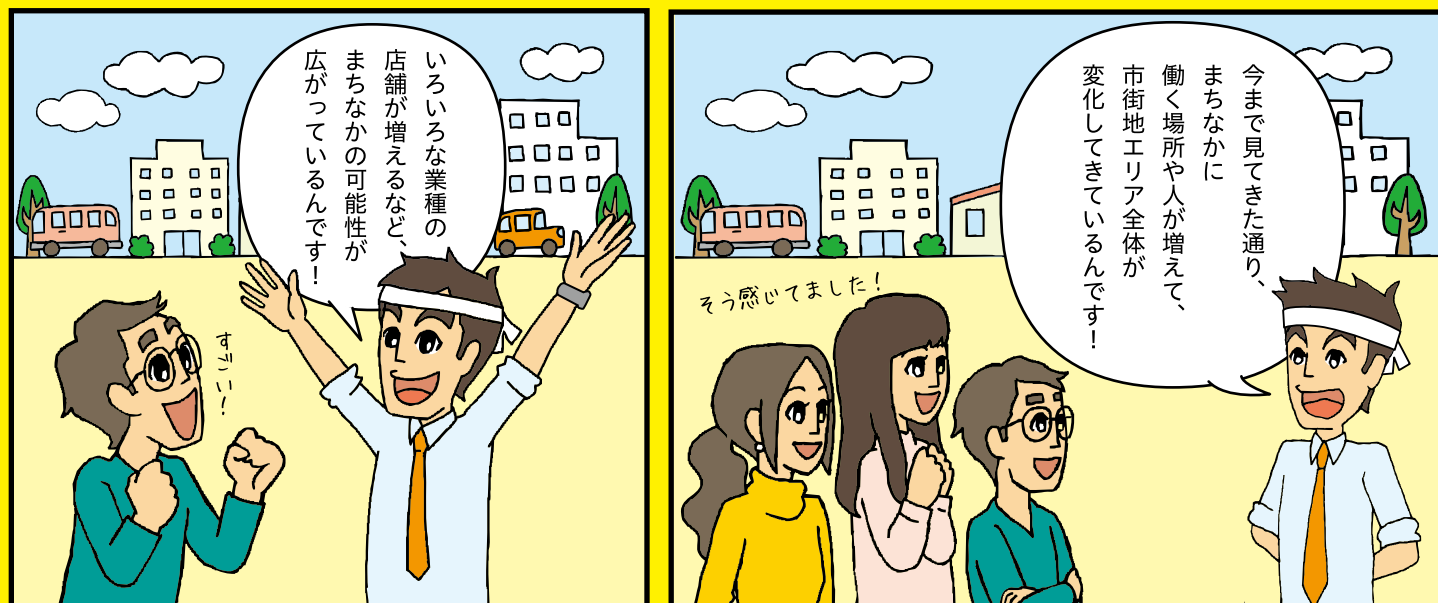
グリーンスローモビリティ

駅周辺とまちなかをつなぐ“グリスロ”の実証調査

市では、駅前と中心市街地の回遊性を向上させる施策として、開放感があり街の空気感や人の動きが感じられる、グリーンスローモビリティを活用した実証実験を行います。11月29日から12月15日の期間中、駅周辺とまちなかをつなぐ区間を10時から18時まで運行予定。料金は無料ですので、まちなかを散策がてら気軽にご利用ください。実証実験中に乗車された皆さんには、アンケートへのご協力をお願いします。



グリーンスローモビリティは、時速20km未満で公道を走ることが可能な4人乗りの電動の乗り物



問 商業労政課 ☎21-1792 FAX28-6572

まちなかへの多様な広がり

～みやざきの可能性が拡大中！～

続いて“マチナカ3000”プロジェクトをきっかけに生まれた、まちの多様な広がりを見てみましょう。



CASE 1

百貨店から 新たな魅力を発信中！

コワーキングスペースや保育所が店内に進出

今年6月、ボンベルタ橋8階に会員制のコワーキングスペース「ATOMica」がオープン。オフィスとしての利用だけでなく、都会との二拠点生活の地方拠点として、また地元の学生による利用も増加中。企業同士や企業と学生の交流の場になりつつあります。西館3階には保育所「フェニックスキッズ」もあり、多様なライフスタイルに対応できる新たなまちなかの魅力を発信しています。

ボンベルタ橋

ATOMica (アトミカ)
フェニックスキッズ



ATOMicaはフリースペースや個室もあり、オフィス環境が整っている



いろいろな人の交流が生まれるイベントの場にも



保育は一時預かりを含む7～22時まで

CASE 3

空き店舗対策助成金を活用 多彩な業種が進出し 空き店舗減少中！

アミュプラザ開業を見越しカフェや青果店が進出

令和2年秋に予定されているアミュプラザ宮崎の開業を見越して、カフェや美容院、青果店、食堂などが次々と進出、市の助成金の後押しもあり、空き店舗は着実に減少してきています。駅前からまちなかへ続くあみーろーどや広島通り、その周辺が多彩な店舗でにぎやかになり、人の流れもさらに活発化しそうです。



カフェ Coco Bowls



ムラタ青果店

CASE 2

企業立地奨励制度を活用 障がい者雇用も拡大中！

まちなかを多様な人が働ける場に

インターネット関連企業GMOグループの特例子会社であるGMOドリームウェブ株式会社では、障がいがある人とその支援員が働いています。支援員は、柔軟な仕事の割り振りや面談などでスタッフの不安解消に努め、働きやすい環境をサポート。スタッフからは「体調や適性に合わせて業務量を調整してくれて働きやすい」という声が上がっています。会社前にバス停があることも、働きやすい理由の一つのようです。



支援員・鬼束幸佑さん



適切なサポートで働きやすい環境に



バリアフリー整備されたオフィス